

人も職場も変えていかなければいけません。

(3) 発熱で受診する際は事前に連絡を

発熱で受診する時には、必ず医療機関にお知らせください。受診日には解熱していても、いつから熱があったかなどの情報が重要です。現在、多くの医療機関では新型コロナウイルス感染予防のため、発熱の患者さんについては、他の患者さんとの接触を避け、診察室を別にしたり、診察時間を調整したりと工夫しております。診察時間を調整している医療機関には受診前に電話などでご連絡ください。また発熱の患者さんの診察後は、診察室の消毒、換気など環境整備に時間を要します。医療機関側も準備が必要なために、ぜひご協力をお願いします。

かかりつけ医がない方は下記の発熱等診療予約センターに連絡、相談してください。

(4) COVID-19の検査について

COVID-19の診断には現在、PCR検査、抗原検査、抗体検査が可能になっております。それぞれの検査は目的、特徴が異なります(表)。

表 COVID-19の検査

	PCR	抗原	抗体 (IgG)
検査の目的	現在の感染の有無	現在の感染の有無	過去の感染の有無
検体採取	鼻腔、咽頭、唾液	鼻腔、唾液	血液
保険適応	あり (公費補助あり)	あり (公費補助あり)	なし(自費)
感度	高い	測定法により異なる	感染約2週間後では高い
結果が出るまでの時間	約6時間	約30~60分	約30分 (キット使用時)

現在の感染の有無を知るためのもっとも精度が高い検査はPCR検査ですが、それでも偽陰性(感染しているけど検査は陰性)の場合があり、陰性だからといって必ずしも安心とは限りません。わが国では未だにPCR検査数が限られております。COVID-19患者と濃厚接触がある方、症状があり医師がCOVID-19を疑った方などについては、保険診療でのPCR検査の適応になります。特に症状はないが、不安だから検査を受けたい、職場で検査を受けるように指示されたなどの理由では保険診療での検査はできません。

発熱等症状がある方は、かかりつけ医、あるいは下記の発熱等診療予約センターに連絡、相談してください。

(5) 現在、通院中の方は治療を続けて

慢性疾患等にて定期的に通院されている方の中に、COVID-19が怖くて、医療機関の受診を控えて、治療を中断してしまう方がいらっしゃいます。現在治療中の病気が治療中断により悪くなることは、かえって新型コロナウイルスに感染しやすくなります。たとえば糖尿病で治療を中断し、血糖が上がってしまうと免疫機能は低下します。現在受けている治療は必

ず継続してください。医療機関の受診に不安がある方は、電話再診やオンライン診療も可能な場合がありますので、かかりつけ医に問い合わせてください。

抗がん剤や免疫抑制剤を使用されている方は、現在の病気の状態を把握している主治医の指示に従ってください。

治療中の病気の管理を疎かにしていると、病気の悪化や合併症を起こしやすくなります。たとえば高血圧の治療を中止した場合、脳卒中、心筋梗塞など命に関わる病気を併発する危険性が高くなります。今後さらに感染拡大し、医療体制がひっ迫した中で、そのような病状になっても、受け入れ医療機関が見つからない場合が生じてくる可能性があります。現在治療中の病気はしっかり治療を継続し、安定した状態を維持しておくことが重要です。

(6) 自己管理で感染予防を

感染予防には、体調を整えて、免疫を良好な状態に保つことが重要です。一般的には十分な睡眠、栄養、休養、適度な運動、ストレスの回避などです。

また高齢者では肺炎球菌ワクチンの接種を、小児では種々の定期接種ワクチンを計画どおりに接種し、ワクチンで予防できるCOVID-19以外の感染症対策をしておくことが大切です。特に冬になるとインフルエンザウイルスの流行も重なってきます。この時期に発熱があると、COVID-19との区別も難しくなります。インフルエンザワクチンについては、今まで接種していない方も接種したほうがいいでしょう。

毎年受けている検診についても予定どおり受けて、現在の体調を把握し、病気の早期発見に努めてください。

喫煙は新型コロナウイルス感染の危険性が高まります。感染予防と喫煙に関連する病気の予防、両方の目的のために、この機会に禁煙しましょう。

(7) 科学的根拠のない情報に惑わされないで

COVID-19は「新型コロナウイルス」の感染症です。今までなかった病気ですので、感染症の専門家はいてもCOVID-19の専門家はいません。不明なことが多いために、さまざまなメディアやSNSで多くの情報が拡散されておりますが、科学的根拠のない情報には惑わされてはいけません。今後、検査法の進歩、ワクチンや治療薬の開発を含め、新しい知見が進めば、常識とされていたことも、変わる可能性もあります。しかし現時点では冷静に今までどおりの感染対策を徹底してください。

(8) 感染者に対する偏見や差別をなくそう

COVID-19患者に対するいわれない差別、中傷、あるいは特定の職種に従事されている方々、流行地域にお住まいの方々に対する根拠のない偏見はまったく的はずれで、多くの人々を傷つけるだけです。いままでハンセン病やAIDSなどの患者さんに対する誤った認識による差別により、多くの人々が苦しめられてきました。われわれはこの苦い経験から多くのことを学んできたはずで、いくら気をつけても、誰にでも感染する可能性はあります。このような状況だからこそ、お互い思いやりの気持ちを大切にしたいものです。ウィズ・コロナ時代は個々の人間力が試される時代です。

11月2日から受診・相談方法が変わります!

コロナかもと思ったときはかかりつけ医に電話で相談を

相談先に迷ったときは状況に合わせて、下記へご連絡ください



発熱・のどの痛み、咳が出る時の診療予約
【神奈川県】発熱等診療予約センター
☎0570-048914 ※IP電話からは ☎045-285-1015
🕒午前9時~午後9時



発熱などがなくても感染の心配がある時など
【相模原市】新型コロナウイルス感染症相談センター
☎042-769-9237 (24時間対応)